

● おもな記事 ●

- 1面 活動と予算
- 2面 アンケート報告
- 3面 福祉活動
- 4面 民協、社協活動のお知らせ

ふれあい

発行 藤沢市長後地区
社会福祉協議会
編集 藤沢市長後地区
社会福祉協議会 広報部
事務局 藤沢市長後513番地
長後市民センター内
責任者 神山政一



夕涼み うまくすぐえるかな.....

福祉のまちづくりの輪を

会長 神山政一

長後におきましては、自治会をはじめ各団体の活動が活発でありますが、それでも、ひろいきれない問題とか、もう少しつっこんだ福祉問題に対する社協の役割りがでてくると思います。それによりにかかわって

いくかと申しますと、各団体の調整や、協力による活動と、ボランティア活動の育成であります。理事が中心となって「福祉のまちづくり」とは何か、を地区のみなきまにもご理解いただき、

担当常任理事決まる

きめ細かな問題に即応できる福祉の輪を、広げていきたいと思えます。

- 会長 神山政一
- 副会長 井上茂作
- 副会長 岸野勲
- 会計 山田英敏
- 会計 広田昭一

- 監事 広田保
監事 小山興四郎
顧問 塚越正治
老人 ○ 岸田英敏
岡村彦市 林良平 金子光雄
田田稔 築瀬勝 羽生義雄
青少年 ○ 小山興四郎
野渡雄助 遠藤柳太郎 小菅茂一 牧タケ子 成瀬一雄
くらし ○ 広田昭一
村上喜久子 渡辺寿子 井上秀夫 高橋俊夫 広田清善 銀 ○ 秦野勲
安田淳一 安田貞夫 森政雄 給食 ○ 井上茂作
布川文男 小菅重行 広田保 山崎加津子
- は担当リーダー
(敬称略、順不同)

稲田さん逝去



民生委員であり、社協の会計として、また自からもボランティアとして、総会資料や、印刷物のタイプ等、長い間地域の福祉活動に御尽力くださいました、稲田順吉氏が、今年三月五日胃潰瘍のため急逝されました。ここに氏の生前のご活躍を感謝すると共に、心からご冥福をお祈り申し上げます。

52年度長後社協活動と予算

充実の年に

物質至上のくらしに歪みが生じたとき、私たちは何を求めるだろう。食卓を飾る一輪の花であり、ふと接する他人の暖かい心ではないだろうか。

地域社協の使命は地域社会のニードに即応できる態勢をつくることにあると思う。福祉行政のシステムに結びつけるまでの援助活動。例えば独居、留守居の老人の急病等に対するホームヘルパー制度手続以前の援助活動や生活資金の貸出しも行政制度以前のつなぎ資金としての活用が望まれる。

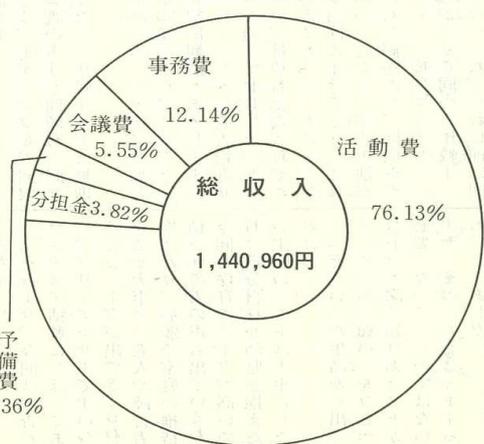
長後社協はこれらに対し、ボランティア活動や、一般住民の理解による善意銀行に寄せられた資金により、その役割を果たして来た。長後社協でなければできない、これらの問題をまず

活動費の内訳

項目	%
老人福祉	29.17%
青少年福祉	15.50
くらしの福祉	5.47
団体育成	12.03
研修費	10.94
広報活動費	16.41
善意銀行	3.65
文化レクリエーション	0.46
諸費、功労者	6.38

- 三 リーダーの養成。
- 二 各団体との連絡調整の強化をはかる。
- 一 会員意識を高めるとともに、地域住民に密着した活動を行なう。

予算の内訳



具体的な活動

- (一) 青少年児童福祉活動
 - 親子映画会
 - 中学卒業生を祝う集い
- (二) 老人福祉活動
 - 敬老会の開催
 - お年よりの集い
 - くらしの福祉活動
 - 生活講座の開催
 - 障害者福祉活動
 - 善意銀行の活動
 - 生活貸付資金、ボランティア活動、地域活動のためのパザー開催
 - 登録ボランティアの連絡と養成
 - 関係団体との連絡調整
 - 寄付等の窓口
- (三) 敬老会の開催
- (四) くらしの福祉活動
- (五) 生活講座の開催
- (六) 障害者福祉活動
- (七) 善意銀行の活動
- (八) 生活貸付資金、ボランティア活動、地域活動のためのパザー開催
- (九) 登録ボランティアの連絡と養成
- (十) 関係団体との連絡調整
- (十一) 寄付等の窓口
- (十二) 老人給食サービス
 - 老人や身障の人で給食を要する人への配食
 - 対象者の特技や才能の活用や社会参加の場をもつ
- (十三) 広報調査活動
 - ふれあい4号の発行
 - 季刊「長後だより」月刊「お知らせ」に協力
 - 研修会
 - 理事、企画部員、ボランティア参加者研修会
 - 指導者養成研修会
 - 文化レクリエーション
 - 親子もちつき大会開催
 - 地区文化活動に協力
 - 団体育成費の交付
 - 生活資金の交付
 - 長後地区各団体へ交付
 - 善意の寄付、パザーの収益を基金として運用する
 - 一口二〇、〇〇〇円とし、一人二口まで
 - 募金活動
 - 日赤、共同募金の推進
 - その他必要と認められた事業
 - 地区行事等に協力

※ 五十二年総会資料より

長後の福祉をすすめるためにアンケート調査報告

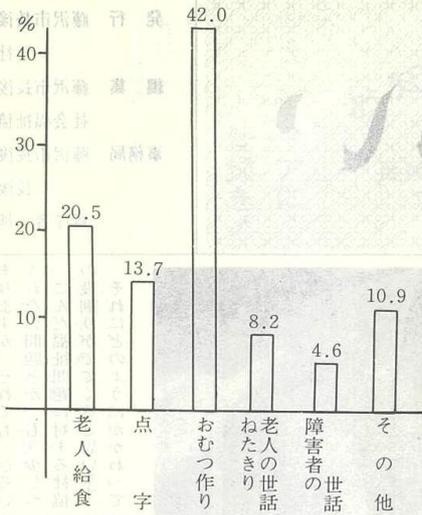
四十九年に主婦を対象とした調査をしましたが、さらにもなさまの意見や地域の状態を把握し、長後の福祉をすすめるために、今回は社会福祉協議会全般とボランティア問題のアンケート調査を行いました。

調査は、無作為に抽出してお願いしたのですが、協力いたゞきました方々に厚く御礼申し上げます。
(アンケート発送九七七 回収率二八、九%)

ボランティアへの参加希望は

1.ある	61.3%
2.理由があって今はできない	8.9%
3.ない	27.4%
4.無回答	2.4%

活動別の参加意識は



その他の活動希望は

○託児
○テープ録音(朗読)

○代筆
○車の送り迎え

アンケート調査報告

○あみ物等
○在宅の児童の学習指導
○お金 品物
○幼稚園教諭の資格を生かす事
○老人の福祉
○主婦、青年サイクリング指導
○できるものならなんでも
○家でできること

社協に望むことは



ご意見によせて

ご自由に書いていただく欄に、いろいろなご意見がありましたので、社協として考えていることを記してみます。みなさんも一緒に考えてみて下さい。

○官製型協会に期待は持たぬ。
○「社協」というと老人、年配者を連想するみたいだす。

○一人一人皆が社会福祉への理解や活動をしていなければ官製型にならざるを得ませんが、長後地区においては、企画、運営のすべてに年々多くの住民が参加していることを知って欲しいと思います。

○社協から
○活動に対して以前から参加したいと思っていました。PR不足のせい内容がわかりませんでした。

○長後地区の広報手段としては社協機関紙「ふれあい」「長後だより」「回覧」が主なものだす。

○活動全般としては「ふれあい」をよくご覧下さい。
○市や県の社協に善意銀行やボランティアセンターがあり広域的に活動しています。どこでも窓口で受付けてくれます。どこでも窓口で受付けてくれます。どこでも窓口で受付けてくれます。

○私は奉仕活動に参加していませんが、参加している人に聞きましたが、参加して一度か二度程度奉仕だけと伺い少ない感じを受けました。将来参加したいと考えています。

○私がみている範囲内ではボランティアに籍をおいている人は多いようですが、活動している人が少ないように見受けられます。

○折角たくさんのご意見をいただきながら全部載せることができず残念ですが、社協以外の担当機関に知らせた方がよいものは各々に意見を取り次ぎました。

特別会計予算(52年度)

生活貸付資金を利用できる人は次のとおりです。
1 地区住民で比較的所得の生活にあると思われる世帯。
2 被生活保護世帯が保護支給で賄えない緊急出費を必要とする時。
3 その他一般世帯で、社協会長 あるいは民生委員総務が必要と認められた世帯。
※貸付金額 一口二〇、〇〇〇円、原則として一人二口まで。
貸付金の償還 一ヶ年以内とし分割償還を認めます。
貸付金の利息 無利子です。
※この貸付を利用したい方は居住地区の民生委員にご相談下さい。

科目	予算額
繰越金	505,489
償還金	55,000
雑収入	10,000
合計	570,489

科目	予算額
から	150,000
雑収入	8,000
繰越金	560,073
合計	718,073

(注) 収入のうち
市からは
市善意銀行
市共済からをさす
雑収入とは
バザー・寄付等をさす

電話で失礼

県社会福祉協議会 高島サチ子

「今度地区社協でボランティアのアンケート調査をしたら、参加の意志が61%にもなつてんだよ。第三者の眼でみてどうだろう。」久しぶりに広田さんから電話である。
「そう、まずサンプル、回収率、調査の方法が問題ね。同じ方法でないと比較するのは無理よ。」
「前回、ボランティア参加の意志が20%だから、こちらとしては希望的観測もあるし……。」
「そう、たしかに老人給食サービスを通じてPRになった分もあるし、社協も認識されてきてはいるでしょう。だけどサンプルが前回の半分ですよ。これはまあいいとして、調査方法が留置に押し寄せ、回収率が90%から、今度は30%ですよ。大分ちがうから同列に比較すべきじゃないわね。それに前は回

答の中に「どちらともいえない」を設けたけど、その分が「気持ちがある」に向つたとみるのは危険ね。
「うん、両方に別れたとは思わんよ。」
「それより、今回は調査がボランティア活動にしばってあるし、フリーアンサーでずいぶんいろんなニードが出てきてるわね。そこが大事よ。老人や障害者を抱えたり、病弱で家庭の維持に精一杯の人の声も出てくるわね。今回も保育のニードが高いですわ。自分自身が幼児を抱えた若い主婦のニードは大事にしなればね。」
「そういう生活から出てくるこまかい「願い」をひびきつけ合せて深く知りあうことが、必要になってくるのではないですか。そのうちおねじやまするわね。じゃあね!!」

活動の中から

長後地区ボランティアの研修の一つとして、昨年11月29日点訳奉仕会の方と一緒に、市立横浜盲学校へ伺い、視覚障害児の教育現場を見て多くの事を学んで来ました。

訪問記

石田幸子

妙蓮寺駅より点字ブロック道路が続いています。黄色で大きなブロックだこと。坂道を数分も歩くと足の底が疲れてきました。点字ブロックが大きいと、せいでとは感じながら信号機の所まで来ました。

この信号機は直径七、八センチ、長さ一メートルの鉄棒の震動が手に伝わり、青になった事を知らせる仕組みになっていました。目の不自由な人達にとってはこれが命の綱というより命の棒なんだと感じました。

視覚障害の子が小さな手、大きな手で時間をかけて、できるまで根気よく一つの事に打ち込む姿を見て、少しの事で思い悩む事など、盲学校の人達のことを思えば何の事もないと教えられ、胸にあつてものを感しました。

奉仕が支えになっており点訳者を要望されているようです。点字も今はタイプが使われ出しましたが、点字板でコツコツやる事が、根気のいる仕事だそうです。

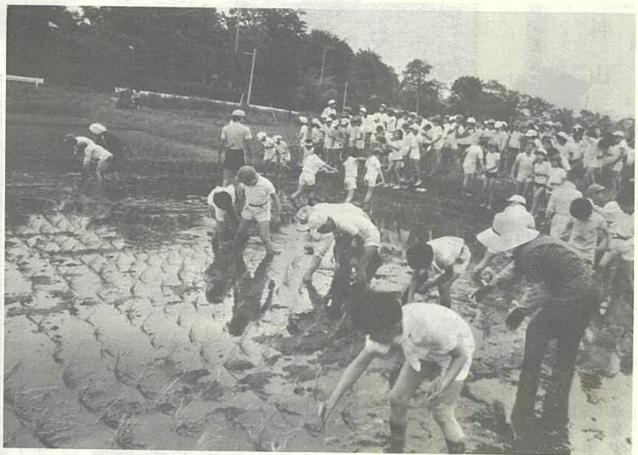
私達は目が見えても、見えなものと同じようなことばかりある世の中ですが、盲学校へ行つて教えられることが多々あります。

暑い最中で子どもも昼寝にとりかかると時間がかかって、できるなら、係の方が熱心にお誘いしてみたいとお聞きするならば子どもを置いておきたいといいたいと思っておりましたが、子どもさんどうぞというご親切な言葉で、思い切つて出かけてみました。

生活講座に参加して

主婦

お陰さまで畳の部屋でしたので、子ども達は賑やかに遊んで、先生には賑やかで申し訳なく思いながら、マンツーマンの雰囲気の中でお話しを伺い、皆さんの質問も同じ私の悩みであり少



田植 え 提供 富士見台小学校

人数のよさで多くの得るものがあり、保育についても自信を確かめ合うよい勉強になりました。こと、有難くお礼申し上げます。ただ、私も会場に近いので参加出来ましたが、会場、時期の問題でお気持はあつても参加出来ない方が大勢おられます。ことと思つています。

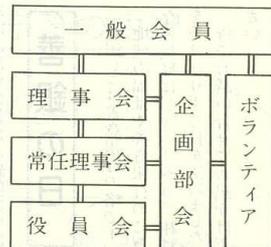
自動販売機に憶う

藤沢市青少年相談センター 指導委員 村上喜久子

地域の皆さまと共に、助け合の輪を、大きく育てたいと願つております。

先ん撤去された場所へ、大型の自動販売機が取り付けられており、普通の週間誌が販売されると思つていた自動販売機を見て、商魂のたくましさ、利益を得るためには、どんな反対があろうと、平気で、俗悪図書販売する凶太さに、ただあきれるばかりです。

社協のしくみ



(註) 一般会員とは 長後の住民全員、自治会に入っている場合は自治会を通して会費が納められている。

役員会とは 会長・副会長・会計・監事等構成され、会の内外の調整を図る。

南魚沼の社協 上越新幹線の開通停車駅浦佐南魚大和町の誘致企業の指導者として家族共々出向致しました。

昨年度の記録から

民生委員 中島ツイ

毎月第一金曜日民生委員協議会の定例会になっております。市役所からも、毎回ケースワーカーが出席されて、各自担当地域の報告や相談、その他問題点を持ちまして、慎重に協議されます。次に昨年の活動記録の中から二、三取りあげて見ました。婦人民生委員の社会福祉活動の一環として、五月より八回にわたり定例研修会が企画され、第一回は「老人の心とからだ」

民協

お知らせのページ

お問い合わせは
長後市民センター内事務局
0466-44-1622

ボランティアに

登録を!

- 事業、活動内容については
 - 寄付の受付
 - 生活貸付資金
 - バザー
 - ボランティア活動
 - 関係機関との連絡、調整
 - 研修
- などがあげられます。
- 登録ボランティアについて
地域の中で何か奉仕したいと希望される方を登録し、お手

善意銀行

ボランティアにやってみてほしい事がある人
○こんなことがあるとか、こうしたらどうかという提言

長後のもじり運動が、ふれあいの中で善意の輪となって広がっていきましよう、ご協力をお願いします。

六月に入れば敬老会の該当者名簿の確認、各担当地域内の金婚夫妻の確認等々あります。九月十日は、市と地区社協共催の敬老会でした。今年には民生委員制度創設六十周年を迎えました。時代と歴史の一つの区切りの時期としてその意義は非常に大きいものと思われまふ。藤沢市ではこれに対する記念事業として市内在住の



給食サービス

地域の皆様の善意に見守られて出発した独居老人の給食も、二年にならうとしています。月二回の配食をさらに回数を増やしては、との声も聞かれます。

喜ばれています
お知らせ下さい。

給食

○ 献立 保健婦
○ 昼食会 年三
○ 回位予定
○ 関係団体との
連絡
○ 研修 必要に応じて

昭和52年度長後・御所見・遠藤 心配事相談日程

月日	相談員	主任
1月18日	和田雪藏 佐野宗一 水越正三	新倉新三郎
2月22日	加藤実美 木村万吉 高橋守	〃
3月15日	岸田英敏 亀井俊子 鈴木秀雄	井上茂作
4月19日	秦野勤 福島ヨシエ	〃
5月17日	広田保 松井房子	〃
6月21日	渡辺藤吉 村上喜久子	〃
7月19日	石井新八 浅田ミエ	〃
8月16日	関弥三郎 矢島みどり	〃
9月20日	林良平 今野かね子	〃
10月18日	窪島美恵子 宮治ユキ 桜井照子	重田喜三郎
11月15日	桜井快 八沢実	〃
12月20日	久保重光 青木安治	〃

六十才以上の老人を対象に老人意識調査を行なう予定になっております。亦藤沢市民生委員協議会では活動の充実をはかる為、次の四部会を計画、七月二十七日から実施されております。

- 一、心身障害者児対策部会
- 二、児童福祉対策部会
- 三、老人福祉対策部会
- 四、低所得者福祉対策部会

各自、いづれかに所属し、研究討議することになっております。亦一人暮らし老人の為に「愛の一声運動」或は県が呼びかけている「ともじり運動」の輪が地域の皆さんと一緒に大きく広がることを期待したいと願っております。

募金名	目標額	実績額	%
52年度赤十字会	6月 973,000	1,048,960	107.80
51年度赤十字会	10-12月 845,500	870,155	102.91
51年度赤十字会	12月 614,000	761,421	124.00

暖かいおもいやりで地域の福祉等に
つかわれています。

○ 52年度 七十五才以上
○ 53年度 七十六才以上
○ 54年度 七十七才以上

今年も私たちの身近な問題をとらあげ、皆さまと一緒に学び、考える場を持ちたいと次のような講座を計画いたしました。大ぜいの皆さまのご参加をお待ちいたします。

生活講座
○ 九月二十二日
場所 協和銀行
内容 国民年金
○ 十一月中旬

敬老会は九月十日
社協活動をおとしてお年寄りのふれあいの場をもちたいと計画いたしました。

市との共催で例年開

解消できたらと六月中旬実施しましたところ、大変喜んでくださいました。

催す敬老会はことしも老人福祉センターを会場として行ないます。

大勢の皆様のご参加をお願いいたします。

敬老会の開催
○ 九月十日
○ お年寄りの集い
三月



くらしの講座

身近かなことから
「ふれあい」お楽しみまで第四号の発行となりました。会員の相互理解の橋渡しとなるよう努力してまいります。地方の社協活動「レポート」など、これからもお寄せ戴ければ幸いです。△会員の皆様の善意により、老人給食を始め、貸付資金制度等、他地域にない企画が、年ごとに充実してきました。また給食を受ける老人から、フランス料理の作り方を教わるなど、ボランティアの方との交流も芽ばえました。なお第五号は、五周年を記念して、写真特集にしたいと思っております。どうぞご期待下さい。

善銀の日
善銀とは善意銀行の略です。地域の福祉や善意銀行の活動など気軽にしゃべったり、相談を受けたりする日を決めました。

○ 三月下旬
場所 長後市民センター
内容 老人向講座
園芸講座 (庭木盆栽の手入れ)

昭和52年度親子映画会開催予定表

日程	会場	対象地区	備考
6月26日	下高倉第一集会所(南台第一集会所)	四辻団地、下高倉第一、下高倉第二	低学年
	長栄会館	長栄会、グリーンパーク、ひかり、藤美会	〃
7月31日	一三三集会所	長後一、二、三、四区、長後通南部	〃
	東栄会館	中高倉、長後六区	〃
9月25日	上高倉公民館	上高倉、中部、滝之上、丸山、桔梗台	〃
	高倉市民の家	末広町、高松町、富士見ヶ丘、四辻大塚	〃
10月16日	高倉市民の家	全地区	高学年
	長後市民センター	全地区	〃
11月27日	渋谷ヶ原集会所	渋谷ヶ原、とどろき、四辻共同住宅、下土棚南、下土棚東、下土棚東原	低学年
	下土棚市民の家	下土棚東、西、下土棚団地、コッポ土棚住宅	〃
2月19日	長後市民センター	長後五区、七区、奥田第一、二、三、上合みずく、長後、新長後第一、二、三	〃
	老人いこいの家	伊勢山住宅、長後通北部第一、二、渋谷	〃

大勢のご参加を
地域の子供の健全なる育成をはかるため「親子映画会」中学卒業生を祝う集いを計画しました。多数の参加をお待ちいたします。尚、中学卒業を祝う集いは卒業式終了後自由参加で開催します。

編集後記
「ふれあい」お楽しみまで第四号の発行となりました。会員の相互理解の橋渡しとなるよう努力してまいります。地方の社協活動「レポート」など、これからもお寄せ戴ければ幸いです。△会員の皆様の善意により、老人給食を始め、貸付資金制度等、他地域にない企画が、年ごとに充実してきました。また給食を受ける老人から、フランス料理の作り方を教わるなど、ボランティアの方との交流も芽ばえました。なお第五号は、五周年を記念して、写真特集にしたいと思っております。どうぞご期待下さい。